

大会宣言

新座市のお母さん、女性のみなさん、男性のみなさん
新座母親大会は、今年で四十四回目を迎えることができました。

今年八月、第六十四回日本母親大会が高知市で開かれ、全国から八五〇〇人以上が集まりました。「子どもたちを核戦争から守ろう」というスローガンのもとに始まった母親大会は、さらに広く、平和・暮らし・福祉・教育・環境・男女平等などへ問題がつながる一大女性運動として発展しています。

世界では、平和で公正な社会を求めうねりが高まっています。国連では「核兵器禁止条約」の批准が始まり五十か国以上が賛成しています。唯一の被爆国である日本が批准に背を向けることは、許せないことです。

依然として「女性の貧困」と「子どもの貧困」が社会問題化しています。子どもの七人に一人は相対的貧困状態にあると言われ、シングルマザーはもちろん、子どもを育てる環境・条件は厳しくなっています。長時間労働は加速するばかりです。非正規雇用・不安定雇用の若者が将来に希望が持てない現状も改善されません。

消費税一〇%への引き上げが計画されていますが、消費税が上がっても、福祉にお金が回るわけではありません。暮らしがますます苦しくなります。消費税率の引き上げには賛成するわけにはいきません。

教育の分野では、現在、小学校一・二年生で三十五人学級が実現しています。しかし、三年生以上は四十人学級のままです。私たちは、三十人学級の完全実施を早期に実現するように運動を進めていきます。

今年九州・中国地方・北海道と地震や台風の被害が続き、地球温暖化現象は年々進んでいます。東日本大震災から七年半、復興はなかなか進みません。原発も国民の世論を押し切って再稼働されようとしています。地震国の日本、原発の再稼働は許せません。

世界の人々の願いは、戦争も核兵器もない平和な世の中に暮らすことです。その中でもわが国の日本国憲法第九条は、「戦争放棄」を理念として輝いています。憲法を変えようとする動きを阻止し、草の根から憲法を守り発展させる運動を、これからも進めていきます。子どもたちに平和と明るい未来を手渡したい、それが私たちの切なる願いです。憲法を深く学び、国、県、新座市にその精神を生かした政策を実施するよう要求していきます。

生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます。

女性も男性も生き生きと働き、豊かな生涯を過ごせるよう運動を進めていくことを新座母親大会の名で宣言します。

二〇一八年九月三〇日

第四十四回新座母親大会